

介護サービス利用料が2割負担になった方の状況について

～利用料が2割になった方の介護、家計への影響などについてのアンケート結果報告書～

鹿児島県生活協同組合連合会
地域ささえあい推進委員会

1. はじめに

介護保険法改正により、2015年8月から一定所得以上の方の介護保険利用料が1割から2割へ引き上げられました。負担が増加したことによる介護や家計の影響を調べ、制度変更後も不安なく、継続したサービスを受けられるように自治体へ意見や要望を届けるために、「介護サービス利用料が2割負担になられた方へのアンケート」調査に取り組みました。

2. 調査の概要

(1) 目的

介護保険利用料が2割に引き上げられ、負担が増えたことによる介護や家計への影響、及び制度変更に対する意識などを把握するために調査を行いました。

(2) 調査対象

鹿児島県生活協同組合連合会に加盟している生協（鹿児島医療生協、奄美医療生協、生協コープかごしま）及び社会福祉法人にじの郷たにやま、社会福祉法人グリーンコープの介護サービス事業を利用している方で、2015年8月以降、利用料が2割負担になった利用者。

(3) 調査方法

配布：事業所を通じて手渡し

回収：事業所を通じて手渡し回収または聞き取り回収

(4) 実施期間 2015年8月1日～10月10日

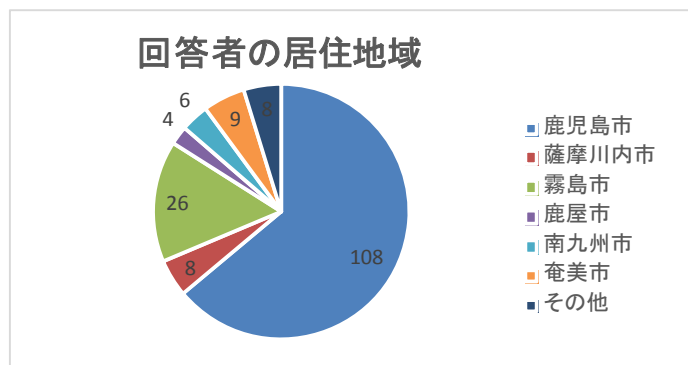
(5) 回答者数 170名

3. 調査項目

- (1) 2割負担者の状況
- (2) サービス利用の変化
- (3) 利用料の変化
- (4) 身体状況や生活への影響
- (5) 介護負担への影響
- (6) 利用料負担が上がったことの受け止め
- (7) 介護にかかる費用の家計への影響
- (8) 介護保険制度やサービスへの意見

* 影響のあった事例については介護支援専門員より別途報告をいただきました。

※ 調査票は、最終ページに添付しました。



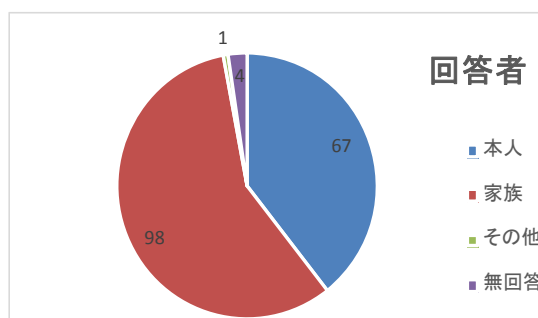
4. アンケート調査結果

(1) 2割負担者の状況

- ①家族回答者が98名（57.6%）、本人67名（39.4%）で6割が家族の意向が反映されています。
- ②要支援が38名（22.4%）、要介護が125名（73.5%）となっています。
- ③男女比は、「男性」114名（67.1%）、「女性」38名（22.4%）と男性が約7割を占めました。
- ④年齢構成は、75才以上が153名（90%）でした。
- ⑤家族構成をみると、「ひとり暮らし」47名（27.6%）が過半数を占め、「夫婦のみ」77名（45.3%）、72.9%が高齢者のみの世帯となっています。

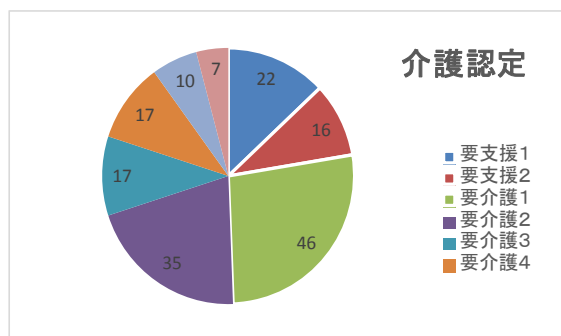
■回答者

回答者	合計	比率
本人	67	39.4%
家族	98	57.6%
その他	1	0.6%
無回答	4	2.4%
合計	170	100.0%



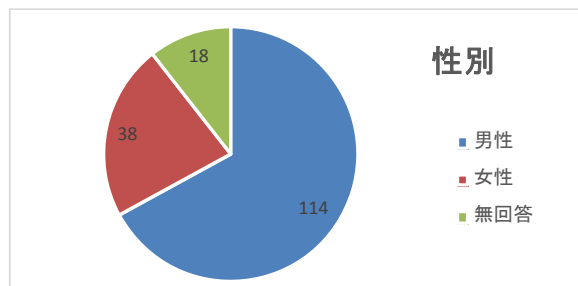
■介護認定

介護認定	合計	比率
要支援1	22	12.9%
要支援2	16	9.4%
要介護1	46	27.1%
要介護2	35	20.6%
要介護3	17	10.0%
要介護4	17	10.0%
要介護5	10	5.9%
無回答	7	4.1%
合計	170	100.0%



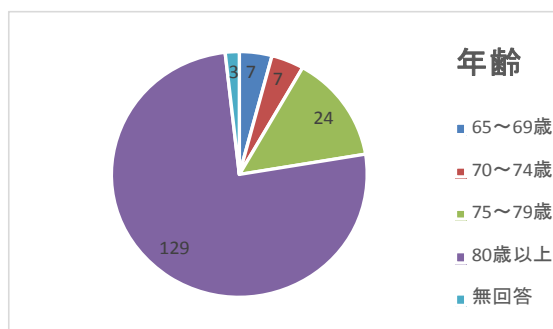
■性別

性別	合計	比率
男性	114	67.1%
女性	38	22.4%
無回答	18	10.6%
合計	170	100.0%



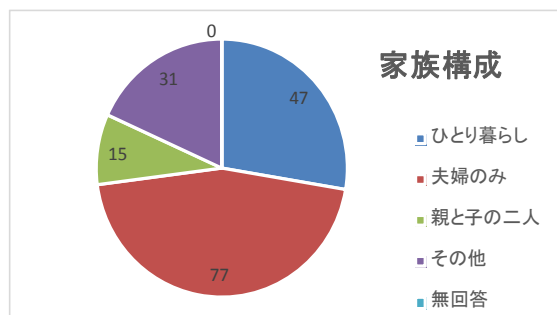
■年齢

年齢	合計	比率
65～69歳	7	4.1%
70～74歳	7	4.1%
75～79歳	24	14.1%
80歳以上	129	75.9%
無回答	3	1.8%
合計	170	100.0%



■ 家族構成

家族構成	合計	比率
ひとり暮らし	47	27.6%
夫婦のみ	77	45.3%
親と子の二人	15	8.8%
その他	31	18.2%
無回答	0	0.0%
合計	170	100.0%

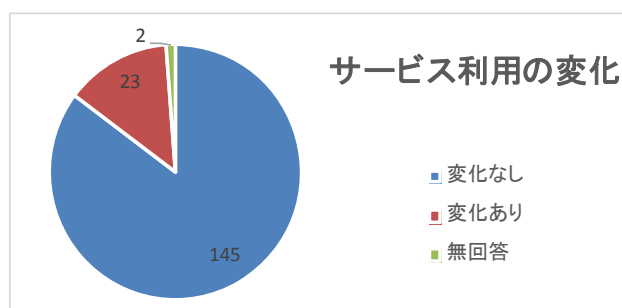


(2) 利用料があがったことでの介護サービス利用及び利用料の変化

- ①受けている介護サービスについては「変化なし」145名(85.3%)、「変化あり」23名(13.5%)で85%が継続してサービスを受けていました。
- ②利用料については、「変化あり」143名(84.1%)、「変化なし」23名(13.5%)でした。

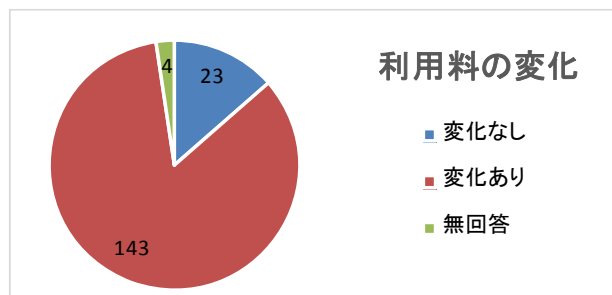
■ サービス利用の変化

サービス利用の変化	合計	比率
変化なし	145	85.3%
変化あり	23	13.5%
無回答	2	1.2%
合計	170	100.0%



■ 利用料の変化

利用料の変化	合計	比率
変化なし	23	13.5%
変化あり	143	84.1%
無回答	4	2.4%
合計	170	100.0%

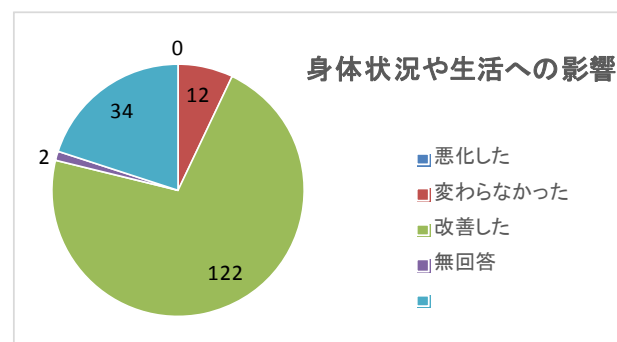


(3) 身体状況や生活への影響

- ①「変わらなかった」122名(71.8%)、「悪化した」12名(7.1%)でした。
- 「料金が高くなってもサービスを減らすわけにはいかない。」「サービス利用を増やしたいが費用を考えると増やせない。」「年金だけでは足りないので預金を切り崩してサービスを利用している」等の意見があり、やりくりして介護サービスを継続している様子が伺えます。

■ 身体状況や生活への影響

身体状況や生活への影響	合計	比率
悪化した	12	7.1%
変わらなかった	122	71.8%
改善した	2	1.2%
無回答	34	20.0%
合計	170	100.0%



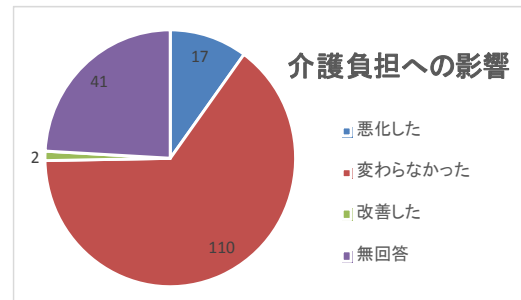
(4) 介護負担への影響

①「変わらなかった」110名(64.7%)、「悪化した」17名(10.0%)でした。

リハビリや福祉用具を中止、ショートステイを制限したり等で介護負担の増加、本人の歩行状態の悪化等出され、サービスを削ると介護負担の増加や身体状況の悪化につながっている状況が伺えます。変わらなくても利用料が増えたことにより、「精神的につらい」という意見も出されています。

■介護負担への影響

介護負担への影響	合計	比率
悪化した	17	10.0%
変わらなかった	110	64.7%
改善した	2	1.2%
無回答	41	24.1%
合計	170	100.0%

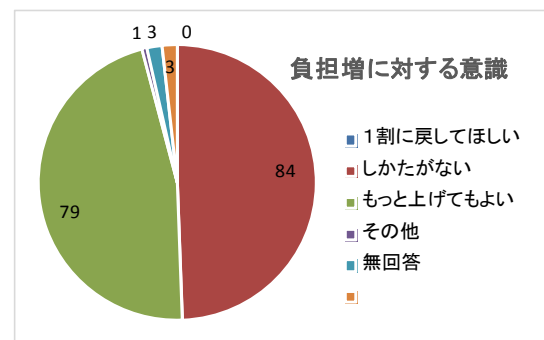


(5) 利用料負担が上がったことの受け止め

①「1割に戻してほしい」84名(49.4%)、「しかたがない」79名(46.5%)でした。

■負担増に対する意識

負担増に対する意識	合計	比率
1割に戻してほしい	84	49.4%
しかたがない	79	46.5%
もっと上げてよい	1	0.6%
その他	3	1.8%
無回答	3	1.8%
合計	170	100.0%



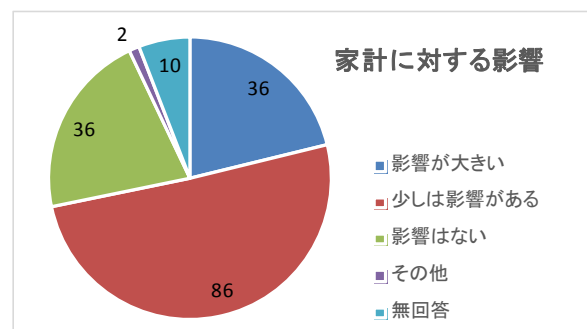
(6) 介護にかかる費用全般の家計に対する影響

①「影響が大きい」36名(21.2%)、「少しは影響がある」86名(50.6%)でした。

7割の方が影響あるとの回答でした。

■家計に対する影響

家計に対する影響	合計	比率
影響が大きい	36	21.2%
少しは影響がある	86	50.6%
影響はない	36	21.2%
その他	2	1.2%
無回答	10	5.9%
合計	170	100.0%



5. まとめ

- (1) 2割負担になった人は、後期高齢者が90%、男性が67.1%、独居、夫婦二人など高齢者のみの世帯が79.2%でした。

高齢、男性、家族介護力が弱いことが伺われます。健康悪化やサービスの変化により、在宅生活継続が困難になることが予想されます。

- (2) 負担が増えても85%の方が継続してサービスを受けていました。

高齢、家族介護力が弱いことなどから負担が増えても利用している介護サービスを減らすわけにはいかない状況です。福祉用具をレンタルから購入に切り替える人も見られ、また、現在のサービス利用は継続できても今後は増やせないという意見もあることから、介護保険の利用控えにより、身体状況が悪化する人が増加してこないか見ていく必要があります。

- (3) 負担が増えて13.5%の方がサービス利用を削り、身体状況が悪化した方が7%、介護負担が増えた（「悪化した」）が10%いました。

困難事例として、所得はあっても家族を扶養している、住宅ローンがある等で可処分所得が少ないケース、また、重介護で有料老人ホームなどを利用して所得のほとんどを介護費用に充てているケース、要介護Vで限度額一杯のサービスを利用しているケースで利用料が大幅に増えたケースなどが報告されました。個別の状況に配慮できる制度の改善が必要です。

＜介護保険利用料が2割になり、

経済的理由でサービス利用が控えられ介護に影響があったケース＞

年齢	性	介護	経済的理由	概要
80代	男	支援 I	妻も介護でこれ以上の負担は困る	妻と按分して訪問介護を利用していたが、本人の訪問介護は中止した。食事の準備、買い物等負担が増えている。
80代	男	I	収入20万前後/月、家賃5万/月	請求書を見て、びっくりした。支払いが厳しいので、冬になればデイケアを週2回から週1回に減らす。風呂もリハビリも週1回で我慢する。
60代	男	II	妻と二人暮らし、住宅ローンがあり、負担厳しい。	ディサービスを月14回から月8回に減らした。前頭側頭型認知症でバランスが保てず、サービスを減らしたら、自宅でよく転ぶようになった。9月右大腿骨頸部骨折で入院となった。
70代	男	V	妻と二人暮らし、重介護	ALS、重介護で多くのサービスを利用。利用料が約3万円増えることになり、注入食介助用に利用していたサイドテーブルのレンタルを中止し安価なテーブルを購入した。妻は使い勝手が悪いが仕方がないと。
80代	男	II	国民年金の妻と無収入の娘を扶養	親子3人の生活のため、支払困難で認知症対応ディサービスを減らした。徘徊などのため、24時間目を話すことができず、妻のストレスが増

				えている。
80代	男	I	妻と二人暮らし。	認知症、訪問看護を週3回から2回に減らし、緊急加算を減らした。皮膚トラブルや湿疹が増加。緊急時の対応にも不安が残る。
80代	男	支援II	娘と二人。年金のみで利用料負担は厳しい。	通所リハビリテーションを中止して、毎月の支払額を抑えた。リハビリをする機会が減少し、介護悪化が懸念される。
90代	男	V	有料老人ホームを利用し、収入のほとんどをあてている。無収入の息子を扶養。	月14万円の負担だったが、月18万の介護費用となる。ショートステイを利用して、負担額を減らすことも考えたが、褥瘡が悪化、吸痰も必要で処置が受けられる現在の有料老人ホームでなければ介護は困難。

(4) 「1割に戻してほしい」、「しかたがない」と答えた人は96%であり、また、家計に「影響が大きい」、「少しは影響がある」と答えた人は72%でした。

介護保険財政の悪化に理解は示しつつも、安く利用できる公的施設が少なく、一定の所得があっても、今後を考えると介護費用が高くなっていくことに不安を持つ人が多い状況です。

2割負担になった方へのアンケート自由記載欄の意見

○ サービスが変化したことにより身体状況や生活への影響がありましたか？

- ・年金だけで足りないので、預金を切り崩して介護サービスの利用や生活をしている
- ・節約している
- ・2割負担を前にいろいろ試行錯誤する中で褥瘡が悪化した
- ・毎日出かけることで生活のリズムができてようやく夜間眠れるようになったのでサービスを減らすことに不安があり、今まで通りのサービス利用を続ける予定である。
- ・有料ホームに施設入所を続けないと在宅で見られないため
- ・買い物に行く回数が増えた。
- ・できればデイケアでのリハビリを増やしたいが介護負担と費用を考えると増やせない。
- ・生活費増加
- ・負担が増えた。生活が苦しくなった。
- ・生活費を切り詰めないと生活できない
- ・料金が高くなってもサービスを減らすわけにはいかない。

○ サービスが変化したことにより介護負担への影響はありましたか？

- ・お金が足りない
- ・家族介護ができない身体状況のため介護はサービスに頼らざるを得ない
- ・精神的につらい
- ・ショートステイを制限するようにしたので介護負担が増えた
- ・料理を作る量が少なくなった
- ・リハビリの回数が減ったので歩行状態が悪化しているように思う。
- ・束縛される時間が増えた
- ・福祉用具貸与（サイドテーブル）を一部中止したので新たに食事テーブルを購入したが介助備品を置きにくい。高さが低い
- ・高すぎる

○ 介護保険制度やサービスについてのご意見、ご要望、その他ご自由にお書きください

- ・先々の不安がある。介護保険は悪くなった。
- ・サービス料金の設定が高いように思う。昼間の時間で1万円程度かかるのは高い。料金が今後ますます高くなっていくのではないかという不安がある。
- ・行政が決めることで仕方がない。
- ・みんな同じが望ましいが。
- ・公的保険で入所できる施設を増やしてほしい。
- ・経済的な不安なく在宅療養ができるようにしてほしい
- ・利用者負担を増やさないようにしてほしい。
- ・介護保険サービスを利用するのは初めてで、初めから2割負担だった。
- ・介護保険料も高い料金をそれなりにひかれているので利用負担が増えるのはおかしいと思う。
- ・今のところ本人の年金や他の収入で何とか生活できているができなくなれば心配。
- ・訪問介護の利用は困難

- ・ いっぱいありすぎる
- ・ 値上げ分が活かせるなら良いが対して変化がなく希望が持てない
- ・ 以前利用していたサービスを利用できなくなった
- ・ 利用したいと思っているサービスを半分に減らさざるを得ないので大変困惑している。
- ・ 年金から介護保険料は毎月引かれてくる。介護保険は使いたくても高い。増やしたいと思っても気が引ける。
- ・ 区画整理の保証金が2年まとめて入金された影響で2割負担になってしまった。来年は1割に戻るが厳しい状態である。
- ・ 金銭負担が増大したのもとに戻してほしい
- ・ できるなら負担を軽くしたい
- ・ サービスはありがたいと思うが、どこから2割になったかなどしっかりとした通知がなく、急に通知があり2割になった。(7月末に通知があり、8月2割になった)
- ・ サービスをもっと安くしてもっと利用しやすいようにしてほしい。
- ・ サービスを減らすわけにはいかないが、利用料が高くなってお金が無くなるので、他で節約しなければならない。
- ・ 料金以外は良くしてもらい、満足している
- ・ 日曜日に用事があることが多いので、日曜日にデイがあったらいいと思う
- ・ 国全体として無駄が多すぎる。それを改善することが先決だと思う
- ・ 老人を軽視していないか！かつて国家の為に貢献した方々である。
- ・ お陰さまで毎日一人暮らしの生活ができます。感謝しています。
- ・ 保険料を安くしてほしい
- ・ 定期的に行政は、市民の声を聞くぐらい積極的に働くべきだ
- ・ 出来たら週2回は来ていただきたい
- ・ オリンピックにかけるお金があったら、私たちの介護にまわしてほしい。
- ・ 高齢世帯には2割負担は大変です。自宅で介護できないので、施設にショートをお願いしていますが、経済的な負担が大きく困っています。
- ・ 年金から介護保険料・税金・医療保険料が引かれ、残った分から利用料金が倍になり、生活費に支障が出ます。
- ・ 公的年金の方だけが2割で、自営業（地元でも会社経営・資産家等）で収入を操作できる方が1割です。
- ・ ヘルパーさんの時間が減った。心配ごとが増えました。
- ・ 通所リハビリを週3回から週2回に減らしました。
- ・ 通所リハビリのみ利用で影響ありません。
- ・ 時間削減等福祉の低下は福祉国家として好ましくないと思っています。
- ・ 介護認定を下げようとする動きがあり制度そのものに疑問を持っています。
- ・ 自治体は世帯の介護料や医療費の多い場合は介護保険料を軽減してほしい。

【資料：調査票】

介護サービス利用料が2割負担になられた方へのアンケート

日頃、生協の介護サービスを御利用いただきありがとうございます。2015年8月より一定所得のある方への介護サービス利用料が2割になりました。2割負担になられた方に率直なご意見をいただき、今後も適切なサービスが受けられるように自治体へ意見や要望を届けたいと思います。ぜひご協力ください。

2015年8月 鹿児島県生活協同組合連合会

*あなたのお住まいになっている地域はどこですか？

①鹿児島市 ②薩摩川内市 ③霧島市 ④鹿屋市 ⑤南九州市 ⑥奄美市 ⑦その他()

*このアンケートに答えた方はどなたですか？

①本人 ②家族 ③その他()

*ご本人の状況についてお尋ねします。○で囲んでください。

介護認定(①支援1 ②支援2 ③介護Ⅰ ④介護Ⅱ ⑤介護Ⅲ ⑥介護Ⅳ ⑦介護Ⅴ)

年齢(①65才～69才 ②70才～74才 ③75才～79才 ④80才以上) 性別(①男性 ②女性)

*家族構成を教えてください。

①一人暮らし ②夫婦のみ ③親と子の二人 ④その他()

1. 利用料が上がったことで介護サービスの利用が変化しましたか？

①変化なし ②変化あり()

2. 利用料は変化しましたか？

①変化なし ②変化あり()

3. サービスが変化したことにより身体状況や生活への影響がありましたか？

①悪化した ②変わらなかった ③改善した

※よろしければ理由をご記入ください。

()

4. サービスが変化したことにより介護負担への影響はありましたか？

①悪化した ②変わらなかった ③改善した

※よろしければ理由をご記入ください。

()

5. 今回利用料負担があがったことについて、どのように思われますか？

①1割に戻してほしい ②しかたがない ③もっと上げてても良い ④その他()

6. 介護にかかる費用全般の家計に対する影響について、どのように思われますか？

①影響が大きい ②少しは影響がある ③影響はない ④その他()

7. 介護保険制度やサービスについてのご意見、ご要望、その他ご自由にお書きください。

()

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました